

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272700782		
法人名	社会福祉法人ファミリー		
事業所名	ハピネスながわ		
所在地 (電話番号)	〒039-0502 青森県三戸郡南部町下名久井字剣吉前川原1-1 (電話) 0178-60-5252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 23日	評価確定日	平成 20年 12月 5日

【情報提供票より】(平成20年10月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.75人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(10月8日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.5 歳	最低	81 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川守田外科胃腸科、国民健康保険名川病院、みかわ神経科内科、中村歯科医院
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>整備された田園地帯の一角にあり、特養と廊下でつながっている。他の福祉施設もまとまって建てられている。理念として「笑顔のある生活」「安らぎのある生活」「思いやりのある生活」「地域の一員としての生活」を掲げ、利用者・職員の生き生きとした笑顔が見受けられ、馴染みの関係が保たれている。併設施設との合同行事(花見、秋祭り)、地域行事への参加、外出、買い物等交流も活発に行われている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入浴に関する改善として、利用者の要望に沿い柔軟に対応している。身体レベル低下の方は、併設特養の機械浴で対応し、安全で安心な入浴をして頂いている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員は評価の意義・目的を理解し、全員で評価に取り組んでいる。その結果は全員へ伝達され掲示されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、ホームの状況・行事への協力依頼・参加者よりの意見等頂き、サービスの向上に活かし、ホームへの理解を深めて頂いている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時、きちんと状況報告され、毎月の金銭出納報告、「ながわめーる」の発送等きめ細かく行われている。事故・苦情防止検討会も明示され、職員へ周知されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事へは積極的に参加し、買い物・散歩時に地域の方と気軽に声を掛け合い、日常的にお付き合いをしている。郷土芸能・保育園児の訪問・地元中学生の体験学習の場の提供等地域との交流を深めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を全職員が理解し、「笑顔のある生活」「安らぎのある生活」「思いやりのある生活」「地域の一員としての生活」の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示され、職員は日常的に確認し、ケアに活かしている。又、申し送りや会議等で話し合われ共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所は地域の一員として、さくらんぼ狩り・お祭り・敬老会に積極的に参加し、買い物・散歩等には地域の方と気軽に声を掛け合い、お付き合いが出来るよう努めている。又、地区中学生の体験学習の場を提供し、交流を図っている。隣接の知的障害者施設とも交流されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者・職員は評価の意義・目的を理解し、自己評価時には全職員が参加されている。評価結果は全職員に周知され話し合いを行い、改善に取り組んでいる。又、掲示もされている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、その内容は記録され、会議等で全職員に報告され、話し合いを行い掲示もされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町担当者とは、町主催の研修時・ホームの行事案内送付時及び問い合わせ・相談等行き来する機会を作り、連携を図っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者には権利擁護・成年後見制度等への研修の機会があり、一部掲示されておりますが、全職員への内容伝達がなされていない。</p>	○	<p>管理者・全職員は勉強会等で話し合い、理解され情報提供が出来るよう努めることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者・全職員は委員会を設置し、勉強会等で話し合いを行い、虐待の防止に努められている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、本人・家族の不安や疑問に答える為、事業所の方針・重要事項等について、時間をかけてわかりやすく説明し、納得の上で同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には状況説明、ながわめーるやホーム便りの発送及び毎月の金銭管理についての報告等きめ細かくされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時、家族より意見や不満等を常に聞くように努めている。苦情処理委員会等も明示されており、申し立てをしやすい体制が作られている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動以外は殆どなく、異動時にはスムーズに出来るよう、お別れ会等開いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修が行われ、年間計画が作成されホーム内外の研修に参加し、報告されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八戸地区グループホーム協会に加盟し、同業者との集まりや研修に参加し、情報交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族の事業所見学から始め、体験利用も実施している。家族と相談、協力し、本人が馴染みながら安心して利用できるよう努められている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「利用者は人生の先輩」という考えを職員は共有されており、一緒に過ごし、日常の会話を楽しみ、共に支え合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族の情報、関わった職員等の報告より一人ひとりの具体的な介護計画が立てられている。把握が困難な場合でも、「本人はどうか」という目線で対応されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族・関係者との話し合いにより、個別の介護計画を作成されている。又、管理者・職員はミーティング時、利用者本位となるよう相談されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は毎月のモニタリング・ミーティング等で確認され、必要があればその都度変更している。面会時、家族と話し合わせ柔軟に対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設の特養ホーム看護師・管理栄養士との連携体制を活用し、指導を受けている。本人・家族の要望を聞き、通院・外出時は臨機応変に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>週1回囑託医(かかりつけ医)の来診があり支援されている。他の医院受診時には家族と相談し対応している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化対応における指針」「看取りに関する指針」が作成され、家族の同意も得ているが、職員の理解度が漠然で全員で方針を共有していない。</p>	○	<p>体制は示されているが、職員の理解度は漠然としたものと思われる。今後全職員への周知を図り、重度化・看取りへの更なる取り組みを期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>全職員は一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言動がないよう、ミーティングで徹底化が図られている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりが自分のペースで暮らせるよう、体調に配慮しながら、本人の気持ちを尊重し、個別性のある支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員と一緒に食事を作り、同じテーブルで食事を楽しんでいる。家族との昼食会も行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は基本的に週2回であるが、本人の希望・体調等に合わせ入浴を決め実施している。身体レベル低下の方は併設施設の機械浴を利用、対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事作り・縫い物・野菜作り等、一人ひとりの経験力に合わせて支援している。又、月1回のエアロビ体操として音楽に合わせて手足を動かす運動も全員参加して行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>出身地への観桜会・ドライブ・散歩等利用者に合わせて、随時行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアはホームの方針であり、マニュアルを作成し全職員が認識し実践されている。委員会も設置され月1回開催されている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、玄関は施錠されていない。玄関の開閉はチャイムがあり、センサーも取り付けられ、所在確認ができるよう工夫されている。また、利用者が外出しそうな様子の際は、職員が付き添い散歩に出かけたり、ドライブへ出かけたりしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成し年2回、消防署の協力の下、避難訓練も行われている。地域の方の災害協力隊(約30名)も設置され、協力して活動されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は職員が作成しているが、併設特養の管理栄養士の助言・指導を得ている。利用者も記録表で食事・水分の摂取量、嚥下・咀嚼状態等確認され、情報の共有が図られている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防マニュアルを作成し、スタッフルームに掲示しているほか、職員の研修・伝達も実施し、予防・対策に努めている。また、インフルエンザ予防接種も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は落ち着いた茶系統の色柄で、室温・明るさ等適度に調節されている。ホールには写真を中心に季節感がある飾りがあり、小上がりの座敷も設置され、居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族には利用者の馴染みの道具・家具等を自由に持ってきてもらえるよう働きかけ、本人が安心して過ごせるよう配慮している。</p>		

 は、重点項目。